洗浄プロセスインジケーター
間接判定法 クリーンチェック

クリーンチェック 特徴

■洗浄の様々なパラメーターに対応できる人工汚染物

クリーンチェックは、噴射圧や超音波出力に限らず、洗浄時間・洗浄温度・洗浄剤の水素イオン濃度（pH）・酵素活性・界面活性力によっても、高い精度で変化を示します。

■植物性タンパク質を主成分とする安全な組成

クリーンチェックは、植物性タンパク質、脂質、炭水化物、食用色素で組成されており、そのすべての原料が食品添加物・食品素材で構成されています。動物由来のタンパク質を使用していないため、安心してご使用いただけます。

■洗浄物のロット管理を考慮した識別表示

クリーンチェックのシート表面には、必要事項などが直接記入できるよう、特殊加工が施されています。使用日時・洗浄装置番号・工程プログラム・作業者など、自由に書き込んでいただけます。
また、アミドブラック10Bを用いて、判定することも可能です。

■保管に便利なシートタイプ

クリーンチェックは、保管に便利な薄いシート状の特殊プラスチックを使用しています。実施後の記録や保管は、洗浄の質を問われた場合の、それを証明する大切な要素となります。ファイリングブックなどを利用し、長期間の記録保管をおこなっていただけます。

■優れたコストパフォーマンス

クリーンチェックは、洗浄物の質と洗浄装置の維持管理のために、毎日・毎回ご使用していただけるよう、経済性を考慮したインジケーターです。

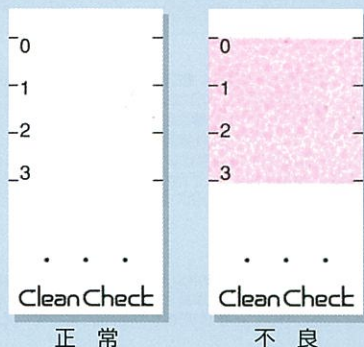
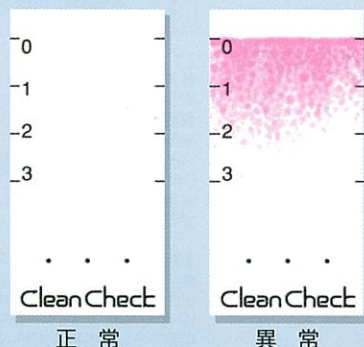
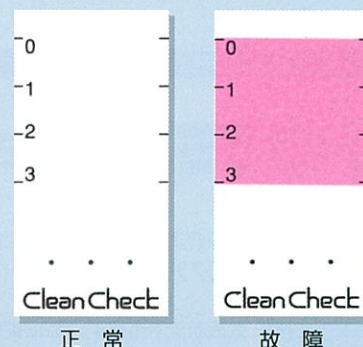
※クリーンチェックご使用の際には裏面記載の専用ホルダー（クリーンチェックホルダー）が必要です。
※クリーンチェックの仕様は予告なく変更する場合があります、予めご了承ください。
※クリーンチェックの詳細は付属の「取扱説明書」をご覧ください。
※カタログ掲載の写真は印刷のため実際とは異なります。

【クリーンチェック150枚入】

汚染物成分
植物性たん白質、脂質、修飾炭水化物、有機酸、食用色素

材　質
クリーンチェック本体シート：
ポリエチレンテレフタレート（PET）
容器（蓋、本体）：ポリスチレン（PS）

クリーンチェック 反応（アルカリ洗浄剤による一例です）

WD:ウォッシャーディスインフェクタ　US:超音波洗浄機

WDでの洗剤投入不良		WDのプロペラ異常による噴射圧の低下		USでの超音波発振機の故障	
正　常	不　良	正　常	異　常	正　常	故　障

Clean Check holder

クリーンチェックホルダー

材質／オールステンレス（SUS304）

クリーンチェックホルダー 特徴

■多種の装置や洗浄プログラムに対応できる負荷量可変式ホルダー

クリーンチェックホルダーは、内部にセットされたクリーンチェックに接触する水流の抵抗を調整することが可能な「負荷量可変式機構」を組み入れています。クリーンチェックの結果は、洗浄機構・洗浄プログラム・洗浄ラックなどによっても変化を示します。そのため、負荷量の調整を行い、常に確認しやすい結果になるように、装置やプログラムなど、施設に適した反応結果を任意で得ることが可能です。

■洗浄物の影響を受けにくい外側固定方式

クリーンチェックホルダーは、洗浄バスケットの外側にセットします。それにより、バスケット内の洗浄物による水流変化などの影響を受けることが少なく、一定した結果が得られます。

■クリーンチェックのセットが簡単なワンタッチ式

クリーンチェックホルダーへのクリーンチェックのセットは、ホルダーの下から差し込むだけの簡単操作です。わずらわしい手間を省きました。

■耐腐食性に優れたオールステンレス製

クリーンチェックホルダーは、オールステンレス製のため、アルカリや酸の影響を受けにくいホルダーです。

クリーンチェックホルダー ご使用方法

クリーンチェックをセットしたクリーンチェックホルダーを、洗浄バスケットの指定位置※1へ取り付けて、バスケット内の洗浄器材と一緒に洗浄を行ってください。洗浄終了後、クリーンチェックをホルダーから取り外して結果を確認します。

※1：ホルダーのセットする位置は、毎回同じ箇所に取り付けていただくことが大切です。ウォッシャーディスインフェクタなどは、噴射アームの先端部の噴射孔が通過する箇所にセットすることをお薦めします。各施設に最適な設置場所や負荷量の調整は、弊社の「洗浄システムサービス」がサポートしておりますので、お気軽にご相談ください。

1 クリーンチェックをホルダーの奥まで差し込みます。「パチッ」と音がするまで、クリーンチェックを押し上げてください。

2 クリーンチェックホルダーを洗浄バスケットにセットします。ウォッシャーディスインフェクタの場合は、噴射アームの先端部が通過する位置に、右記写真のように洗浄バスケット外側に取り付けてください。

3 洗浄終了後、クリーンチェックをホルダーから取り外し、反応を確認します。「パチッ」と音がするまで、クリーンチェックを下げて引き抜いてください。

負荷量可変式機構とは…

可変ボルトの調整によりクリーンチェックへ水流の負荷を与える可変板が稼動して、最適な反応結果を示します。

【クリーンチェック】
●洗浄バスケットへの取り付けには、専用ホルダーをご使用ください。●容器本体のキャップの開閉は速やかに行ってください。●開封後は、湿気を避けて水分が容器内に入らないように注意してください。●保管は、直射日光を避けて冷暗所(5℃～25℃)に保管してください。●冷蔵庫などで保管した場合には、結露しないように室温に戻してから開封してください。●本品は、洗浄装置のトラブルを管理するプロセスインジケーターです。実際の洗浄物に付着した汚染物が確実に洗浄されたことを保証するものではありません。●洗浄剤単独の洗浄効力を比較するために使用するには、不向きなことがあります。●超音波洗浄槽などで、洗浄溶液を繰り返し使用する場合、徐々に洗浄液が赤色になることがありますが、洗浄性や安全性に問題はありません。

【クリーンチェックホルダー】
●分解などを行わず、使用目的以外にはご使用しないでください。●ホルダーとバスケットはしっかり固定させてください。●多槽式洗浄装置など、バスケットが移動する洗浄装置に使用する場合には、バスケット移動の際にホルダーが装置内の突起物などに接触しないことを必ず確認の上、取り付けてください。確認できない場合は使用しないでください。

お問い合わせ・お申し込みは

クリーンケミカル株式会社

JQA-QM6252 JQA-EM6035
本社・茨木ラボセンター
医療及び理化学用洗浄剤

本社 大阪府茨木市横江1丁目12番14号
℡072-632-2253㈹ 〒567-0865

茨木ラボセンター 大阪府茨木市島4丁目28番9号
℡072-634-6470 〒567-0854